



Photo & Text : **Takaji Ochi, Yasuaki Kagii**
Special Thanks : **D.O.** (ディーオー)



再考する! アンダマン海の 新しい潜り方!



新しく生まれ変わったプーケットは、以前にも増して海も陸も楽しみが満載! 「短い休暇でも、リーズナブルに色々楽しみたい」という欲張りなあなたへD.O.(ディーオー)が新しく提案するのは、1泊2日または2泊3日のスミラン諸島でのショートクルーズ+αという楽しみ方。αの楽しみかたは人それぞれ。ビーチでのんびりするのもよし、街に繰り出し、タイ料理やショッピングを楽しむのもよし。また、アンダマン海の魅力が凝縮されたプーケット周辺のローカルポイントへのデイトリップもお勧め。潜って、遊んで、食い倒れ! ショートクルーズ+αは、プーケットでの新しい遊び方だ!





写真上段左) コボンなどではマンタとの遭遇率がとても高い
 中上) 大きな巨岩が造り出す景観はスマラン諸島のひとつの特徴
 右上) カラフルなソフトコーラルが向かえてくれる
 左下) 日本語のブリーフィングはD.O.の藤中さんが行う
 右下) レッドサドルバックアネモネフィッシュ

Short Cruise

気軽に！スマラン諸島へショートクルーズ



写真下段上左から) ショートクルーズのゲストは交際色豊。様々な国からゲストが乗船してくる
 上中) ゲスト全員に対して英語でブリーフィングが行われる
 上左) 室内は、清潔感があって、快適
 下中) スピードボートで、毎日ゲストや物資の運搬を行っている
 下右) シーズン中、スマラン諸島を周遊しているクルーズ船のソンプン号



ダイバーの中でも注目度の高い「スマラン諸島」。パウダーブルーの海と真っ白なビーチに囲まれたこの海域は、多様な海の生態系と高い透明度に恵まれ、アジアが世界に誇るダイブディステーションのひとつとなっている。

ダイバー憧れのマンタやサメなどの大物との遭遇や、イエローバック・フィジューラーなどの群れやアンダマン海の固有種との出会い。そして豊かなサンゴ礁&カラフルなソフトコーラルの森、また巨岩が作り出す独特の海中景観を楽しむことができる。

スマラン諸島やその北に位置するコボン、コタチャイなどの人気のダイビングポイントを楽しむ方法としては、これまで4泊5日のダイブクルーズが主流であったが、実は1泊2日、2泊3日のショートクルーズでも楽しむことができる。

ショートクルーズの魅力は、まず、乾季である10月から5月までの間、毎日、スマラン諸島に向けて出発するこ

とができること。プーケットからスマラン諸島に近い港まで陸移動を行い、スピードボートで沖合に停泊しているダイブクルーズ船に向かう。その後は、ダイブクルーズ船を拠点としてスマラン諸島やコボン、コタチャイでのショートクルーズを楽しむことができる。ショートクルーズといっても、潜れるダイビング本数は7ダイブ(1泊)11ダイブ(2泊)と充分にアンダマンの海を楽しむことができる。そして、クルーズ船が常にスマラン諸島を周遊しているため、長距離移動がなく船酔いの心配がないのも嬉しい。長い船上生活は苦手な方でも気軽にスマラン諸島でのダイビングを楽しむことができるのだ。

Information

- スマラン離島ショートクルーズ (1泊2日、2泊3日)
http://www.dophuket.com/cruise/similan_short.htm
- リチュエーロック ショートクルーズ (2泊3日、3泊4日)
http://www.dophuket.com/cruise/richeryu_short.htm
- アンダマン海4泊5日クルーズ
 スマラン+リチュエーロック定番クルーズ
http://www.dophuket.com/cruise/andaman_cruise.htm

Thailand, Andaman Sea
 再考する！ アンダマン海の新しい潜り方！

Information Link <http://www.dophuket.com/> 情報HPへジャンプ

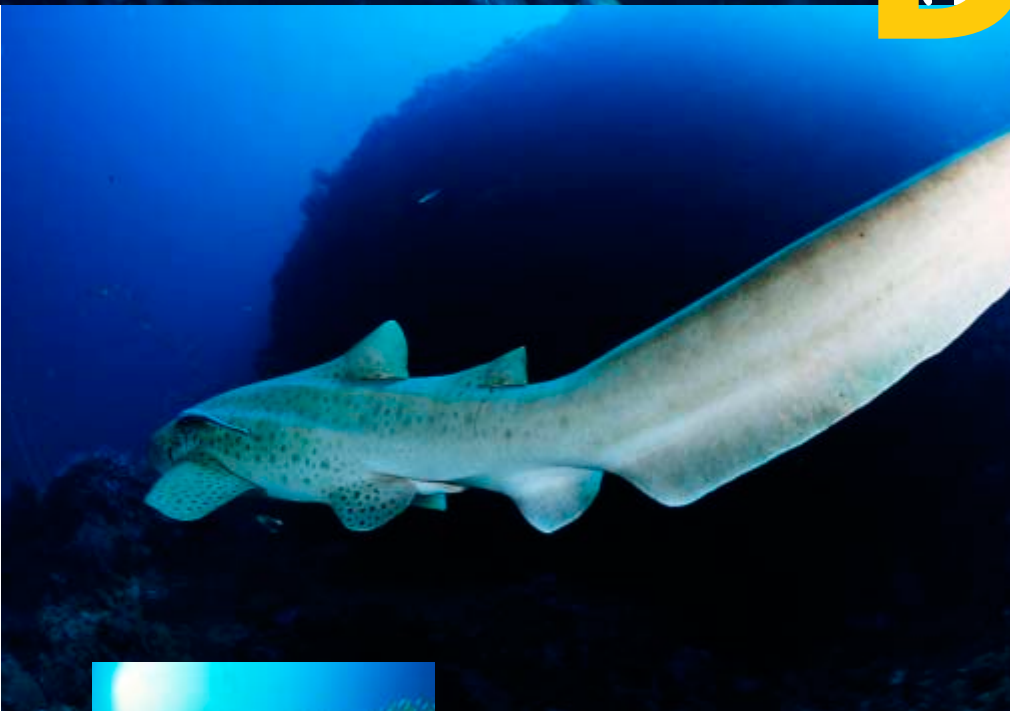


写真上段左) キングクルーザーに群れるギンガメアジの群れ
 左) 体色の美しい、アカオビハナダイ
 右) 海底から、奇岩が立ちあがっているビダノックポイント
 下) シャークフィンリーフに群生するカラフルなソフトコーラルとハードコーラル



右) アネモネリーフの岩礁は、クマノミの巣となるイソギンチャクに覆われている

プーケット、Day Trip エリアの魅力



プーケットステイのもう一つの魅力は、プーケットの南に点在する、ローカルポイントに日帰りで潜りに行ける事。乾期であれば、短い滞在でも、同じ場所にながらにして、ショートクルーズでスマラン。そしてデイトリップでローカルポイントと二つの海の表情を楽しむ事ができるのだ。

透明度の良い癒し系のスマランに対して、デイトリップのポイントは、「スマランの凝縮版」とD.O.のオーナーガイド藤中さんが表現するように、この海には、多くの魚たちが、一つのポイントに密集している。その魚影の濃さは、スマランの比ではない。

「アネモネリーフ」ではキンセンフエダイ、ニセクロホシフエダイが雲海のように太陽光を遮断するほどの魚圧で群れ、「シャークポイント」では、色鮮やかなソフトコーラルが壁一面を覆いつくしている。

シーズン中には、レパードシャークの求愛やイシモチの口内保育、ゴーストパイプフィッシュが「ドクマイ島」に異常発生したり、アカオビハナダイが水深16m

と浅めの水深まで上がってきて、性転換したオスのコロニーを形成するなどなど、面白い生態を季節ごとに目の当たりにする事もできる。

「日本人ダイバーの間では、アンダマン海＝シミラン、リチュエー＝大物というイメージが浸透しているが、実は、プーケットのデイトリップエリアでのジンベエザメの出現情報も多く聞かれるし、ギンガメアジやバラクーダの群れも狙える。シャークポイント、アネモネリーフ、ピビ島などのこうしたローカルポイントは、欧米人ダイバーには人気が高く、スマランとはひと味違ったアンダマン海の魅力を堪能できるはず」と藤中さん。

プーケットからは、デイトリップのポートでのんびり移動。近年、大型クルーザーを使用するのが主流になってきたため、海が多少荒れても気にならない。1年中ダイビングが楽しめるようになった。ポイントによっては3時間近くかかる場所もあるが、天気の良い日など、船上で海風を受けながら、のんびり情眠をむさぼるのも気持ち良い。

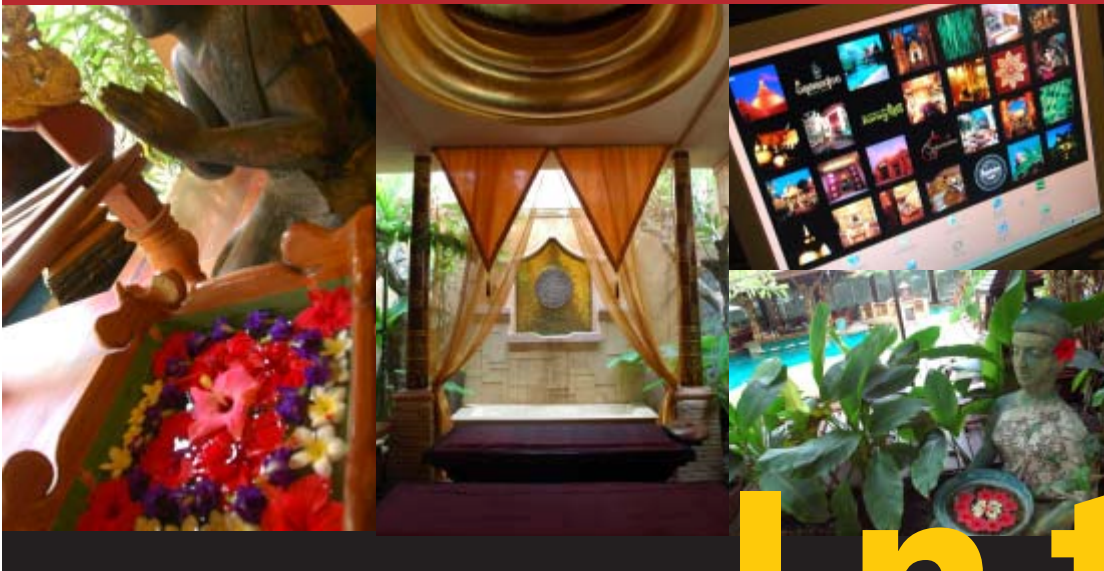


上) ビダノックで遭遇した、レパードシャーク
 左) 太陽光を遮る程の群れを作るキンセンフエダイ

Thailand, Andaman Sea
 再考する! アンダマン海の新しい潜り方!

Information Link <http://www.dophuket.com/> 情報HPへジャンプ

写真上段) プーケットステイでのD.O.お勤めのリゾート、サワディービレッジ。
 こじんまりした敷地内には洗練された空間が広がっている。室内にはインターネットのサービスも。



D.O. オーナーガイド、藤中さんに聞く

Interview

Shop Information

D.O. 〈ディーオー〉

'00年のオープン以来、徹底した完全小人数制でこの海を案内している。アンダマン海ガイド歴8年の僕(オーナーガイド)を中心に、経験とデータをつかったガイディング、安全管理で、FWに力をいれている。《記録よりも記憶に残るダイビングを提供》がモットーで、NAKA&HAMAの強力2トップを中心に、トークと海に強いガイド陣が人気。プーケット、シミランの遊び、海をトータルにサポート。

毎日更新の海BLOG http://www.dophuket.com/blog/blog_index.htm



NAKA (藤中幸司) さん
 大阪府出身 タイ歴 8年
 PADI認定インストラクター

Staff



HAMA (浜辺洋伸) さん
 茨城県出身 タイ歴 4年
 PADI認定インストラクター



MASA (浅井マサユキ) さん
 滋賀県出身 タイ歴 1ヶ月
 PADI認定インストラクター



MAIKO (石田舞子) さん
 京都府出身 タイ歴 2年
 PADI認定ダイブマスター
 PADI認定EFRインストラクター



左) D.O. のオーナーガイド、藤中さんと、予約担当で旅のプランもサポートしてくれる、奥さんのミサさんと愛娘のクルマちゃん

WEB-LUE: プーケットにある他のダイビングサービスがスマランのロングクルーズにこだわる中、何故D.O.では、ショートクルーズや、プーケットステイにこだわるのですか?

藤中: ショート、陸泊にこだわっているのは、じつは長い船上生活は自分が苦手というだけです(笑)。でもこういうダイバーは実際多いんじゃないでしょうか? クルーズで潜り込んだダイバーならともかく、ビギナーやブランクのある人も多いわけですからね。そういう人たちをケアしてあげるためにも、皆があまりこのままの事を誰かがしてあげなければ、いけないと思っています。

WEB-LUE: スマランのショートクルーズのメリットを教えてくださいませんか?

の海を訪れることができます。

WEB-LUE: デイトリップで行ける海はどんな印象ですか?

藤中: アンダマン海の魅力が凝縮された海と云えばいいでしょうか。乾季、雨季に関係なく、365日潜れるのも魅力です。ただ、まじ良いときと、悪いときの差が大きい海でもあります。ポイントのレベルはビギナーからOKだけど、潮の影響を大きく受けるので、ある程度希望をお伺いして、そのときどきのベストのポイントを問い合わせの段階でチョイスしてもらったほうがいいと思います。最近の群れ系は、ギンガメ、キンセン、ツムブリ等の群れです。マクロ系はアカオビ、シモフリ、ゴーストパイプ、シーホースレッドサドルバック(トマト)とか、キンメモドキの群れとか。毎日更新している自社HPの海ブログ

http://www.dophuket.com/blog/blog_index.htmでマニアとまではいかないけど、結構マクロ情報も掲載しているんですよ。

透明度の問題もあって、ガイドで印象のかわる海だと思います。だから、どれだけこの海に熟練しているかは重要ですね。そういう意味でも、このエリアをメインに活動している日本人ダイビングサービスは限られていますから。僕は自信を持ってゲストの方に満足行くダイビングを楽しんでもらえるようにつとめています。

藤中: 出港の決まったロングと違い、ダイビングエリアを回遊中の母船にスピードボートで送客するので、日程にしばられず、毎日出発可能な事です。スマラン諸島は1泊2日からで、水、日ボン島へ行くし、リチュリューは火、土曜出発で2泊3日から。参加方法は航空券だけ自分で手配すれば、ホテル、送迎はサービスでご紹介します。また、旅行会社のパッケージツアーに申し込んで、クルーズ1泊分の荷物をもって、参加することも可能です。ショートクルーズならではの気軽さで、スマラン

右) ヒタナイポイントのドロップオフに群生する美しいソフトコーラル
 左) スマラン諸島の癒し系ダイビングポイント「ナイースト・オフ」エデンのサンゴ礁



Thailand, Andaman Sea
 再考する! アンダマン海の新しい潜り方!

Information Link <http://www.dophuket.com/> 情報HPへジャンプ